



平成 24 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 ダイダン株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 植林 信一
 (コード番号：1980 東証・大証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員業務本部長 河久保弘和
 (TEL. 06-6447-8003)
 (URL <http://www.daidan.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 9 日の決算発表時に公表いたしました平成 25 年 3 月期の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	58,500	750	750	300	6.72
今回修正予想 (B)	56,100	310	380	△120	△2.69
増減額 (B-A)	△2,400	△440	△370	△420	—
増減率 (%)	△4.1	△58.7	△49.3	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	52,429	539	458	1	0.03

2. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	121,000	3,000	3,000	1,500	33.60
今回修正予想 (B)	116,000	2,500	2,500	1,200	26.88
増減額 (B-A)	△5,000	△500	△500	△300	—
増減率 (%)	△4.1	△16.7	△16.7	△20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	122,109	2,692	2,736	1,175	26.32

3. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	58,000	750	750	300	6.72
今回修正予想 (B)	55,100	230	290	△150	△3.36
増減額 (B-A)	△2,900	△520	△460	△450	—
増減率 (%)	△5.0	△69.3	△61.3	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	51,983	534	409	△38	△0.85

4. 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,000	3,000	3,000	1,500	33.60
今回修正予想 (B)	115,000	2,500	2,500	1,200	26.88
増減額 (B-A)	△5,000	△500	△500	△300	—
増減率 (%)	△4.2	△16.7	△16.7	△20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	120,393	2,630	2,660	1,142	25.58

5. 第 2 四半期業績予想の修正理由

受注工事高は、厳しい受注環境ながらも、前回公表値 60,500 百万円に対し、2,800 百万円増の 63,300 百万円程度となる見通しです。

売上高は、受注工事高が比較的堅調であったものの、受注時期が第 2 四半期連結累計期間の後半に集中したこともあり、第 2 四半期連結累計期間末における工事の進捗が当初の見込みまで到達せず、前回公表値 58,500 百万円に対し、2,400 百万円減の 56,100 百万円程度となる見通しです。

利益面につきましては、営業利益は、売上高の減少等を受け、前回公表値 750 百万円に対し、440 百万円減の 310 百万円程度となる見通しです。経常利益は、営業利益の減少を受け、前回公表値 750 百万円に対し、370 百万円減の 380 百万円程度となる見通しです。四半期純利益は、経常利益の減少及び株安に伴う投資有価証券評価損 185 百万円の発生により、前回公表値 300 百万円に対し、420 百万円減の△120 百万円程度となる見通しです。

業績予想の修正は主に連結財務諸表提出会社（当社）の修正によるものです。

6. 通期業績予想の修正理由

業績予想につきましては、現状を踏まえ当事業年度末までの受注計画を見直した結果、下記の通り修正いたします。

受注工事高は、前回公表の 121,000 百万円から変更はありません。

売上高は、前回公表の 121,000 百万円から 5,000 百万円減の 116,000 百万円に修正しております。

利益面につきましては、売上高の減少等を見込み、営業利益及び経常利益は前回公表の 3,000 百万円から 500 百万円減の 2,500 百万円へ、当期純利益は、1,500 百万円から 300 百万円減の 1,200 百万円へそれぞれ修正しております。

業績予想の修正は主に連結財務諸表提出会社（当社）の修正によるものです。

(注) 上記の業績予想の修正につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、業績予想数値と異なる場合があります。

以上